

# 2023年度 学校自己評価システムシート（私立 立教小学校）

目指す学校像	キリスト教信仰にもとづき、自己と他者を大切にする児童を育てる学校を目指す。
--------	---------------------------------------

重点目標	<p>1 神様に喜ばれる子どもの育成（教育目標） 友だちのよいところがわかる子ども 自分のよいところを表現できる子ども 広い視野でものを見られる子ども すべてに感謝できる子ども</p> <p>2 教育環境の充実</p> <p>3 児童を支える体制の推進</p>
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価（3月現在）			
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>教育目標への到達 (1) 教育・研究への取り組み</p> <p>(2) 学校行事の充実</p>	<p>(1)</p> <p>①建学の精神の理解</p> <p>②キリスト教への理解</p> <p>③子どもの人権</p> <p>④指導目標の設定 (教科研究部の目標)</p> <p>⑤特色あるカリキュラムの実施</p> <p>⑥授業方法の改善</p> <p>⑦評価方法の改善</p> <p>⑧家庭学習の奨励</p> <p>⑨教員のスキルアップ</p> <p>(2)</p> <p>⑩体験学習の充実</p>	<p>(1)</p> <p>①「立教単元」などで学習</p> <p>②礼拝（週1）、聖書の授業 祈りで始まり祈りで終わる学校生活 行事の前後の祈り</p> <p>③気になることアンケート（年3回） ハイパーQ U（年2回）、 事例研究会（年3回）、ケース会議</p> <p>④教科研究部、各教科部会、全体会での研究、部会発表</p> <p>⑤各教科部会での研究、発表</p> <p>⑥公開授業（年3回：全教員参加） 各教科部会での研究</p> <p>⑦教科研究部全体目標 通知表・道しるべ（所見）の改善</p> <p>⑧家庭学習の明示と確認 日常、長期休み</p> <p>⑨各種研修会の活用 私立学校、キリスト教学校教育同盟、 国公立小学校</p> <p>(2)</p> <p>・キャンプ、遠足、運動会、校外学習 (フィールドワーク、グローバルエクササイズ、 学院巡り、田植え・稲刈りなど)</p>	<p>・①～⑦について実施できたか。</p> <p>・充実したプログラムを実施できたか。</p>	<p>①1～2年生 生活科、3年からの社会科で実施</p> <p>②基本的に低学年、高学年ごとに毎週礼拝を実施。行事の前後にお祈りを実施</p> <p>③アンケートに基づき、個別面談実施</p> <p>④全体会（3回）実施</p> <p>⑤授業記録に基づく学習内容の研究</p> <p>⑥教科ごとの研究授業実施</p> <p>⑦教職員研究会での研究</p> <p>⑧毎日の宿題の連絡と確認</p> <p>⑨全教員が各種研修会に参加</p> <p>(2) すべてのプログラムを実施</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>①「立教単元」内容の再考。</p> <p>②礼拝やお祈りを大切にする姿勢を持つよう今後も指導する。</p> <p>③子どもの思いを理解しその思いに寄り添う教育を目指す。</p> <p>④今後も子ども一人一人がいきる教育を目指すため研究を進める。</p> <p>⑤学年末に教科の主任会で振り返りを実施する。</p> <p>⑥今年度も教科ごとに実施する。</p> <p>⑦通知表、道しるべの改善を目指す</p> <p>⑧家庭との連携を今後とる。</p> <p>⑨国公立学校の研修会にも参加する。 (筑波大学附属小等)</p> <p>・移転先の校舎でも、プログラムの更なる充実をはかるよう委員会検討する。</p>
2	<p>教育環境の充実 (1) 運営と管理</p>	<p>①健康管理体制について</p> <p>②施設・設備の充実</p>	<p>①校医、スクールカウンセラー（週2回）、大学教員との連携</p> <p>②ICT環境の整備</p>	<p>①校医、スクールカウンセラー、大学教員との連携がとれたか。</p> <p>②授業で活用できたか。</p>	<p>①校医来校（毎週月曜日）スクールカウンセラー、大学教員との連携</p> <p>②1年生からiPadを授業で活用</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>①今後も校医、スクールカウンセラー、大学教員との連携をはかる。</p> <p>②情報機器のさらなる充実 ・児童の安全のための施設改善</p>
3	<p>児童を支える体制の推進 (1) 児童の生活指導について (2) 保護者への対応 (3) 安全について</p>	<p>①生活指導・進学指導の充実</p> <p>②開かれた学校づくりの推進</p> <p>③危機管理・安全対策について</p>	<p>①児童面談</p> <p>②保護者面談、保護者からのアンケート（公開） 学年別PTA、面談、 学年・学級通信</p> <p>③ICタグ、保護者の携帯へのメール発信（非常連絡など）</p>	<p>①児童とのコミュニケーションがとれたか。</p> <p>②保護者とのコミュニケーションがとれたか。</p> <p>③ICタグ、メールを有効に活用できたか。</p>	<p>①児童面談（生活、進学など）</p> <p>②保護者面談（1・2年：毎学期） (3～6年：1・2学期) 学年別PTA各学期に1回</p> <p>③ICタグ、メール送信を有効に利用</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>①今後も機会を見つけ、児童との面談を持つようつとめる。</p> <p>②1・2学期の面談（1、2年生は各学期）各学期のPTA、学年、学級通信を通して保護者とのコミュニケーションをはかる</p> <p>③ICタグを有効に利用する。</p>